

【連載：「試聴室探訪記」第33回】

～谷口ともりの、魅惑のパノラマ写真の世界～  
オーディオ仲間の集う店 サウンド西新（福岡市）

フォトグラファー 谷口 ともり・編集委員 森 芳久

今は昔、日本のオーディオの黎明期の頃、各都市には必ずオーディオ専門店が存在し、そこには一家言を持つオーナー社長や店長さんがいました。お客さまもまた尊敬すべき先達を頼ってお店に通ってくれたものです。そして休日ともなると、そこにオーディオファンが集いオーディオ談義に花が咲きました。オーディオ専門メーカーの社員もまたその輪に加わり、そこはまさにメーカー、販売店、ユーザー三者の格好のコミュニケーションの場でもありました。特にメーカーの駆け出し営業マンや若手技術者達は、まずはこのようなお店でオーディオの洗礼を受けたものでした。まさに、このようなオーディオ店の存在こそが、ユーザーにとってもオーディオメーカーにとっても訓練の道場であったのです。

かく云う私もまた、オーディオ業界に飛び込んだとき、これらのオーディオ専門店でもオーディオとは何か、またユーザーが何を求めているかを徹底的に学ぶことができました。おかげで、これらのことが私のオーディオ人生にとってどれだけ貴重な財産となったことでしょうか。

閑話休題。今回はそんな昔の専門店の面影を今に残している福岡市内のオーディオ店「サウンド西新」に伺いました。当時福岡市内有数のオーディオ専門店「サウンド福岡」の名物店長、古川光浩氏が独立し「サウンド西新」を設立、現在も古き佳き時代のオーディオ専門店の雰囲気大切に、長男古川浩周氏と親子二代に亘って続けて来られています。

モダンな外観のドアを開けて店内に入ると、なんとそこには、あのイギリスの名車トライアンフ TR-4（1962年製）が古いオーディオ機器と一緒に展示されています。壁には古き名車のサインが並び、初めてこの店内に入った客人は、一瞬ここが何のお店なのか戸惑うことでしょうか。古川親子の趣味が凝縮されて独自の店内の雰囲気を醸し出しているのです。もちろん本業のオーディオは ALTEC A-5 The Voice of the Theater をサウンド西新特製の 300B（ウエスタンエレクトリック製）のメインアンプで駆動、JBL の 4333A を McIntosh のプリアンプ C32、パワーアンプ MC7220 で駆動、CD プレーヤーは STUDAR D730 などなど、往年の名器が並べられています。

ここにオーディオファンたちが三々五々集まり、店長を囲んで楽しいオーディオ談義、また車をはじめ趣味の話が盛り上がります。まさにここでは数十年前から時が止まったかのようなのです。

もちろん、このお店では新製品についても一般家電についても幅広く対応してくれるなど、街の電気屋さんとしての顔も持っているのです。お客様目線の木目細かなサービス対応もオーディオ専門店ならではのと言えるでしょう。オーディオはもちろん電気製品に関してはどんな相談にも乗るといってもまた「サウンド西新」の看板なのです。

（サウンド西新連絡先：電話 092-851-8728）

今回も谷口ともり氏の素晴らしい映像で「サウンド西新」のお店の雰囲気を存分にお楽しみください。

敢えて細かな商品についての説明はいたしません、画面をズームしながら佳き時代の名器をご堪能ください。



#### パノラマ画像の操作説明

- パノラマ写真は、 [ここ](#)か、はじめのページ画像をクリックしてご覧ください。  
(ローディングに若干時間がかかる場合があります。)
  - マウス操作で、画面を上下・左右 360 360 度、自在に回転してご覧いただけます。
  - 画面下にある操作ボタンで次の操作ができます。
- + 画面のズームイン
  - 画面のズームアウト
  - ← 画面の左移動
  - 画面の右移動
  - ↑ 画面の上方向へ移動 画面の上方向へ移動
  - ↓ 画面の下方向へ移動 画面の下方向へ移動